

常任委員会の報告

総務委員会

9月定例会で付託された議案3件および請願2件について報告する。

◆**公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正**

◆**地域経済牽引事業の促進に係る固定資産税の特例に関する条例**

問 対象となる企業はどのように決定するのか。

答 国の基本方針に基づき、市と県が基本計画を策定し、国の承認を得る。この基本計画をもとに地元企業が地域経済牽引事業を策定し、県知事の承認が得られると、支援が受けられるという仕組みである。

◆**一般会計補正予算(第2回)**

問 システム改修委託料、元号改正対応について、元号でなく西暦でも可能ということを知ったが市の対応は。

答 年号の表記は、国や県でも文書は元号表記が基本で、市でも、市民、職員に浸透しているもので、原則として元号を使用することを市内で意思統一をした。市民の方が西暦で申請した場合は、西暦で受理する。また、免許証等は、有効期限は西暦を使用することなのでケース・バイ・ケースで西暦を使用することを考えている。
○以上3件は原案のとおり可決

◆**消費税増税中止を求める意見書の提出を求める請願**

意見 消費税を10%に上げるといふことは、商売、営業の方は大変である。この問題は、日々の生活を送っている人に10%は非常に重い負担である。

意見 生産年齢人口の減少、高齢化に伴って年金や医療介護などの費用が大きく増加し、これ以上将来負担を若者に押し付けるわけにはいかない。社会保障制度を安定させていくためにも新しい税源が必要である。

◆**東海第二原子力発電所の運転延長を行わないことを求める請願**

意見 東海第二原子力発電所は、色々な事故が起きて、老朽化もしている。東海第二原子力発電所の運転差し止め、廃炉しかないということとを多くの人が望んでいる。

意見 石油資源を持たない日本におけるエネルギー政策は、世界的に見ても厳しい水準である。規則、基準、審査、福島原発の後には新基準になっていて、これを通して原子力発電所は再稼働をやむなしと考える。

○以上2件は挙手少数により不採択



まちづくり委員会

9月定例会に付託された議案7件について報告する。

◆**下水道事業の設置等に関する条例**

例 公営企業会計移行に係る国からの財源措置は。

答 27年度から31年度までの集中取組期間に移行する場合には、公営企業会計の適用に直接必要な経費に限り、公営企業債の対象として充当率が100%となり、元利償還金に対しても、下水道事業債に準じた普通交付税措置がある。

◆**一般会計補正予算(第2回)**

問 し尿処理広域化検討事業(定住)の広域化に関する基礎調査業務委託料600万円に関し、広域化に向けた今後のスケジュールは。

答 議会での可決後、早急に業者委託を行い、検討資料等の作成を進めるとともに、県内の先進施設等の視察研修を行う予定。広域化に関する検討会は、30年6月から現在まで2回開催しているが、今後は、1市4町の財政面等を勘案し、広域化や事務委託等、どの方法が最適なのか、し尿残渣のエネルギー化を含め検討を進めていく。

問 (仮称)秩父ビジネスプラザ事業に関し、建物利用の計画は。

答 1階は、創業資金が少ないであろう若い人を想定した飲食店の

チャレンジショップとする。市がある程度の設備を準備して、初期投資を抑えた形で入居していただき、1年あるいは2年で、技術の習得や顧客を掴んでいただきたのち、市内で独立していただくことを想定している。2階、3階は、時間貸し、週貸し、月貸しといった自由な形態で利用いただくコワーキングスペース、あるいはサテライトオフィスとし、若い人たちによる横の交流や新しい仕事を創造する集いの場としていく。

問 道路用地等取得事業の市道中央632号線に係る用地買収費3千万円に関し、当該用地の道路幅員は。

答 国道140号側からの進入路については、道路幅員10メートル、うち片側歩道3メートルを予定し、大型トラック等も通行可能である。

◆**下水道事業特別会計補正予算(第1回)**

◆**農業集落排水事業特別会計補正予算(第1回)**

◆**戸別合併処理浄化槽事業特別会計補正予算(第1回)**

◆**公設地方卸売市場特別会計補正予算(第1回)**

◆**駐車場事業特別会計補正予算(第1回)**

○以上7件は原案のとおり可決

常任委員会の報告

文教福祉委員会

9月定例会で付託された議案8件および請願1件について報告する。

◆職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正

問 救急医療等の業務に従事する医師以外の職員の手当についての検討は。

答 看護師をはじめとした各職員は通常の勤務時間の中で夜間業務をこなし、また、夜間医療等業務手当が支給されていることから今回は改正しないが、検討は行っている。

◆患者一人について、特殊勤務手当が5千円支給されるのか。

答 救急外来診療に引き続き入院となった場合、一人につき5千円の手当が支給される。

◆重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部改正

意見 所得制限を行うことは家計への影響もあり、県内のいくつかの市町村で所得制限を導入するかは未定であることから改正は拙速である。

◆指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例等の一部改正

○挙手多数により可決
○原案のとおり可決

◆市立幼稚園設置条例の一部を改正する条例の一部改正

意見 子育て支援に逆行するものであり、激変緩和措置を継続すべきであるため反対する。

◆一般会計補正予算(第2回)

◆国民健康保険特別会計補正予算(第1回)

◆後期高齢者医療特別会計補正予算(第1回)

◆介護保険特別会計補正予算(第1回)

◆秩父市における受動喫煙防止対策に関する請願

意見 受動喫煙の健康への影響は明白であり、一定の条例によって責務を課すことは必要と考える。

意見 国民の健康を守るためにも、オリンピック・パラリンピックの開催国としても、国際的責任を果たすうえで、受動喫煙対策の抜本的強化は急務である。
○挙手多数により採択



議会改革特別委員会

◆6月6日、20日委員会開催

今後の協議項目および進め方について協議を行い、最優先項目を「議員報酬」「議員定数」とした。

意見 議員報酬については、委員会で議論すべきものなのか疑問である。

結果 委員会では調査をすることだけとした。

意見 議員定数については、そんなに急いでやる必要はなく、じっくりやるべき。

意見 議員定数については、過去から議論していた過程もあり、すでに議論はしている。

結果 引き続き協議をすることとした。

◆7月2日委員会開催

意見 市民・社会の非難をかわすために定数削減をするのは問題、中身が必要である。

意見 多くの市民が人数が多いと言っているのも事実であり、少数精鋭で行くべき。

意見 定数削減はきりが無い。秩父は面積が広く、意見・願いが反映できるかが大事。

意見 広さだけ、人口減だけでも決められない。常任委員会を6人にして実績もあり、削減しても問題なし。

意見 なるべく様々な、多くの意見が必要。定数には根拠が必要で、そうでないと市民に説明が難しい。

見が必要。定数には根拠が必要で、そうでないと市民に説明が難しい。

結果 「減らしたほうが良い」「現状維持」との2つの意見に集約され、次の会議で、根拠をもとに意見集約することとした。

◆8月6日委員会開催

意見 委員会が維持できる6人×3委員会で18人。インパクトのある削減を。

意見 18人は行き過ぎだ。現状維持がいいが、減らすのであれば20人。

意見 委員会構成を1委員会6人、多数決でしっかりした形にできる。6人×3委員会で18人と議長で19人。

意見 人口減少、税収減からも6人×3委員会、議長で19人が適当。

意見 1委員会6人と議長の19人がふさわしい。現状から3人減となるが、事務局機能のアップと、ICTタブレット端末等の導入を図っていく。

結果 現状の定数22人から「20人」「19人」「18人」と3つの具体的な案が出て、賛成多数で19人と決した。議員提出議案として、次期一般選挙から議員定数を19人とする議案を賛成多数で9月定例会に提出することに決した。



9月定例会で審議した議案の結果

議案、請願の件名	議決結果	会派ごとの賛否				
		清流 9人	サン 4人	共産 3人	公明 2人	無会派 金崎 1人
職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○
公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○
重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	×	○	×
指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例等の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○
市立幼稚園条例の一部を改正する条例の一部改正	原案可決	○	○	×	○	○
下水道事業の設置等に関する条例	原案可決	○	○	○	○	○
地域経済牽引事業の促進に係る固定資産税の特例に関する条例	原案可決	○	○	○	○	○
一般会計補正予算(第2回)	原案可決	○	○	○	○	○
国民健康保険特別会計補正予算(第1回)	原案可決	○	○	○	○	○
後期高齢者医療特別会計補正予算(第1回)	原案可決	○	○	○	○	○
介護保険特別会計補正予算(第1回)	原案可決	○	○	○	○	○
下水道事業特別会計補正予算(第1回)	原案可決	○	○	○	○	○
農業集落排水事業特別会計補正予算(第1回)	原案可決	○	○	○	○	○
戸別合併処理浄化槽事業特別会計補正予算(第1回)	原案可決	○	○	○	○	○
公設地方卸売市場特別会計補正予算(第1回)	原案可決	○	○	○	○	○
駐車場事業特別会計補正予算(第1回)	原案可決	○	○	○	○	○

議案、請願の件名	議決結果	会派ごとの賛否				
		清流 9人	サン 4人	共産 3人	公明 2人	無会派 金崎 1人
一般会計歳入歳出決算の認定	継続審査	-	-	-	-	-
国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	継続審査	-	-	-	-	-
後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	継続審査	-	-	-	-	-
介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	継続審査	-	-	-	-	-
下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	継続審査	-	-	-	-	-
農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定	継続審査	-	-	-	-	-
戸別合併処理浄化槽事業特別会計歳入歳出決算の認定	継続審査	-	-	-	-	-
公設地方卸売市場特別会計歳入歳出決算の認定	継続審査	-	-	-	-	-
駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定	継続審査	-	-	-	-	-
市立病院事業会計決算の認定	継続審査	-	-	-	-	-
議員提出議案						
生態系への影響が指摘されているネオニコチノイド系農薬の規制を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○
議会の議員の定数を定める条例の一部改正	原案可決	○	○	×	○	×
請願						
秩父市における受動喫煙防止対策に関する請願	採択	○	○	×	○	×
消費税増税中止を求める意見書の提出を求める請願	不採択	×	×	○	×	○
東海第二原子力発電所の運転延長を行わないことを求める請願	不採択	×	×	○	×	○

清流：清流クラブ サン：サンライズ秩父 共産：日本共産党秩父市議団
 公明：公明党 無会派：会派に属さない議員
 ※議長は人数に含まれていない。

○：賛成 ×：反対 ○/○：賛成人数/会派人数

一般質問

市政への質問

一般質問は、市政に関わる市の考えを聞いたり、議員が政策を提案したりするものです。各議員の質問項目は下記のとおりです(質問順に掲載)。

① 上林 富夫(サンライズ秩父) 1 危機管理体制 2 市の障がい者雇用の実績 3 企業誘致の現状 4 市民生活の現状	⑤ 本橋 貢(公明党) 1 地域猫活動・野良猫を減らすために 2 障がい者雇用制度 3 聖地公園の清掃・管理	⑨ 黒澤 秀之(清流クラブ) 1 防災(減災)政策 2 防犯政策 3 荒川流域の交流事業を通じた地域活性化
② 堀口 義正(清流クラブ) 1 秩父市「公共施設等総合管理計画」 2 秩父市「避難行動要支援者支援制度」 3 市道原谷69号線・幹線61号線工事計画	⑥ 出浦 章恵(日本共産党秩父市議団) 1 豪雨災害対策 ハザードマップ作製を 2 カワウ対策に伴う近隣住民への安全対策 3 オスプレイ飛行に対する市の考えは	⑩ 大久保 進(公明党) 1 公共施設や通学路のブロック塀安全確保 2 認知症の人を対象にした損害賠償保険
③ 金崎 昌之 1 市民満足度調査の休止と市民参画のまちづくり 2 まちなか巡回バスの運行 3 秩父市の防災体制と自助・共助・公助のあり方	⑦ 江田 徹(清流クラブ) 1 秩父ジオグラビティパーク構想 2 雇用の拡大 3 荒川上田野地内の産業廃棄物 4 各種申請書等の押印	⑪ 赤岩 秀文(清流クラブ) 1 観光客の交通安全対策 2 子どもの安心安全 3 公衆トイレ(観光トイレ)の今後
④ 清野 和彦 1 枠配分予算編成 2 歴史まちづくり法 3 星の子教室 4 市役所・市民会館・歴史館の駐車場	⑧ 桜井 均(日本共産党秩父市議団) 1 災害対応(避難所の開設・防災倉庫) 2 住宅リフォーム制度の活用 3 福祉女性会館の将来 4 子育て支援(インフルエンザ接種助成)	⑫ 山中 進(日本共産党秩父市議団) 1 国保制度 2 子どもの貧困対策 3 大滝地域の振興

※市議会ホームページのインターネット録画中継で、一般質問の様子をご覧いただけます。